Technics®

写真はシルバー色の製品です。

取扱説明書
ターンテーブルシステム

品番 SL-1200MK5

このたびは、テクニクス ターンテーブルシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

上手に使って上手に節電

保証書別添付

RQT6812-1S

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■**表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

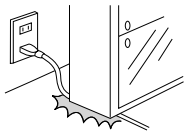
■**お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

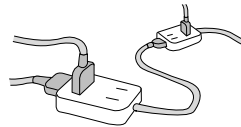
電源コードについて

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- 抜くときは、プラグを持ち、まっすぐ抜いてください。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

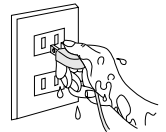
電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や、発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
  電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

- 感電の原因になります。

雷について

雷が鳴ったら、機器やプラグに触れない

- 感電の恐れがあります。

もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**

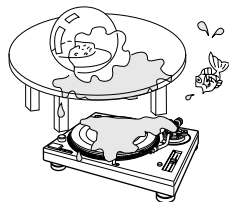
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠警告

ご使用について

機器の上にものを載せない

- ものが内部に入り込み、感電、火災や故障の原因になります。

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

分解、改造したりしない

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

⚠注意

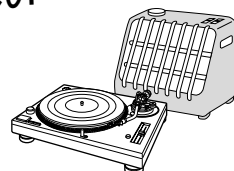
設置について

不安定な場所に設置しない

- 機器が落ちたり､倒れたりして､けがの原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところや、湿気やほこりの多いところに置かない

- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

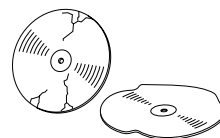
ご使用について

コードを接続した状態で移動しない

- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

機器に乗らない

- ダストカバーが破損してけがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

ひび割れ、変形したレコードは使わない

- 高速回転しますので、飛び散ったり、飛び出したりしてけがの原因になることがあります。
- 接着剤などで補修したレコードも同様に危険ですので使用しないでください。

主な特長

世界中で銘器の評価を受ける、ターンテーブルシステムの傑作

高精度回転を維持するクオーツ連続可変ピッチコントロール

- 正確な回転精度を保ったままピッチ可変範囲で、ピッチ（回転数）を連続的に変化させることができます。
- resetボタンの装備により、一瞬にして±0％定速回転（33⅓、45 r/min）に戻せます。

ハイトルクを生む一体構造のダイレクトドライブ方式

- ワウフラッター 0.01％以下、起動トルク1.5 kg·cm、0.7秒（33⅓r/min）で定速回転します。
- 純電子式ブレーキの採用でなめらかな停止を実現。ボリュームの装備によりブレーキスピードの調整ができます。

ジンバルサスペンション方式を採用したトーンアーム

- アーム後部軸にバランスウェイト取付目盛を付加したことで、適正針圧となるバランスウェイトの設定位置をバランスウェイト取付目盛で覚えておけば、いつもの針圧設定が即座に再現できます。
- ロック機構付アーム高さ調整機構で、6 mmの範囲でアーム高さを微調整できます。

三層構造キャビネットと大型インシュレーターの採用で徹底した防振設計

ポップアップ式スタイラスイルミネーションを装備

- 高輝度、長寿命のLEDが針先を照らします。

部品と付属品の確認

本機は輸送時のショックから保護するために一部の部品を取り外して包装しています。
まず最初に部品と付属品を確かめてください。
付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。
（　　）内は買い替え時の品番を表します。

☐ ターンテーブル……1

☐ ターンテーブルシート……1

☐ ディスクスリップシート（透明シート含む）……1
（品番：RGS0005Z-1）

☐ ダストカバー……1

☐ EPレコード用アダプター……1
（品番：SFWE010）

☐ バランスウェイト……1

☐ 補助ウェイト……1
（品番：SFPWG17202）

☐ シェル……1
（品番：SFPCC31001K）

☐ シェルウェイト……1
（品番：SFPZB3501）

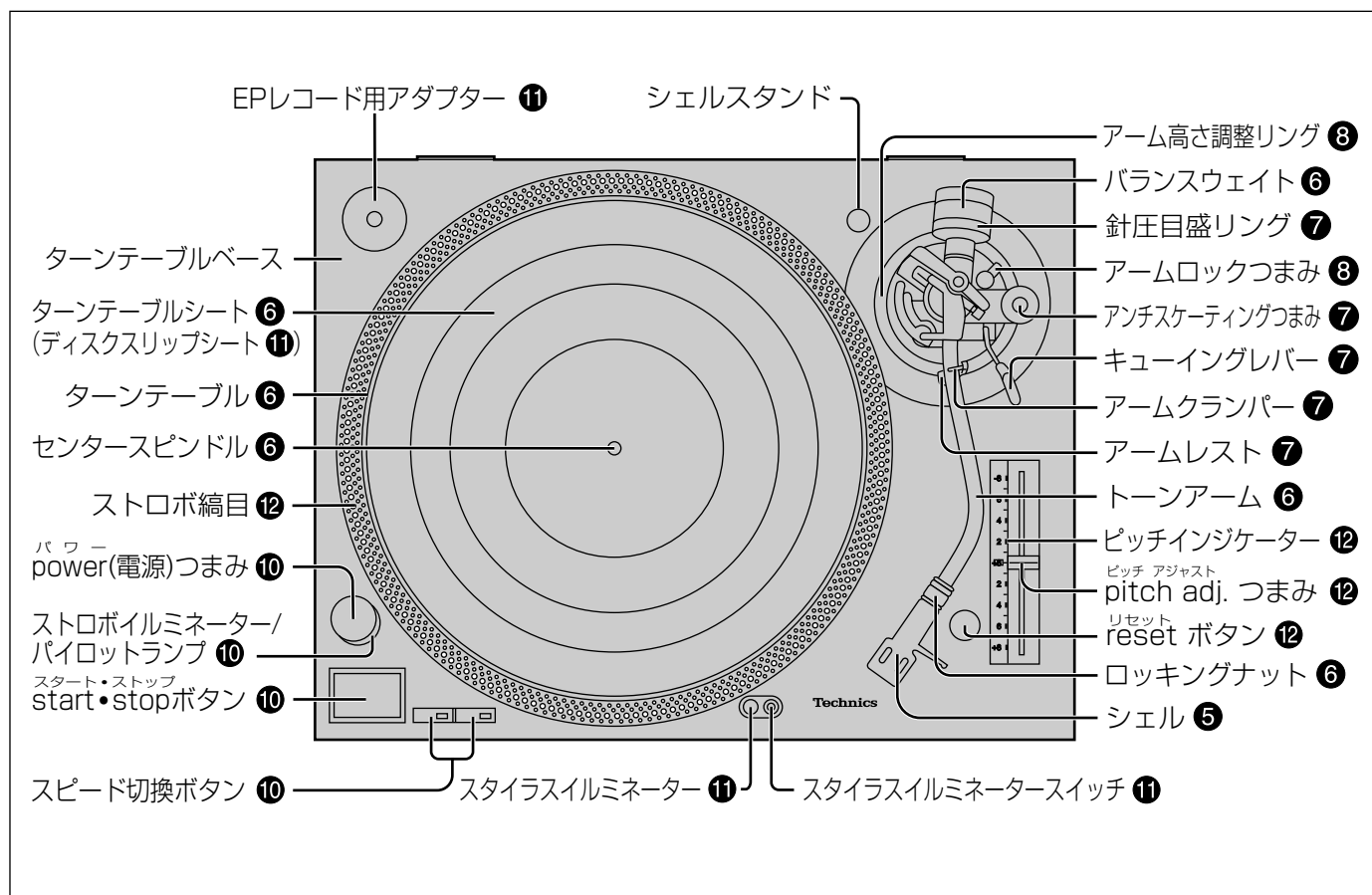
☐ オーバーハングゲージ……1
（品番：SFK0135-01）

☐ カートリッジ取付ねじセット……1
ナット（品番：RHN26003）
ねじ（短）（品番：SFCZV8801-1）
ねじ（長）（品番：SFPEV9801-1）
ワッシャー（品番：SFPEW9601）

☐ ステッカー……1

各部のなまえ

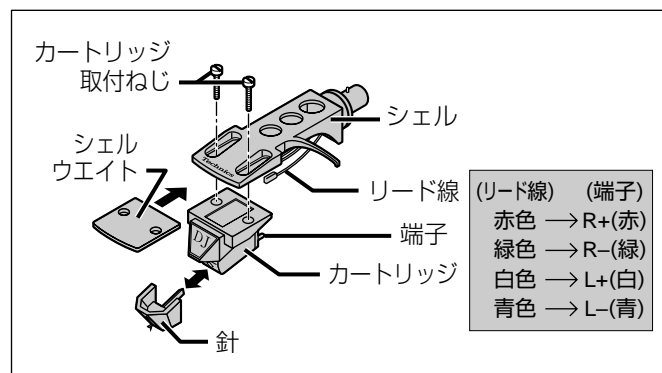
⓫などの数字は参照ページです。

EPレコード用アダプター ⓫
シェルスタンド
ターンテーブルベース
ターンテーブルシート ❻
(ディスクスリップシート ⓫)
ターンテーブル ❻
センタースピンドル ❻
ストロボ縞目 ⓬
power(電源)つまみ ⓾
ストロボイルミネーター/
パイロットランプ ⓾
start•stopボタン ⓾
スピード切換ボタン ⓾
スタイラスイルミネーター ⓫
スタイラスイルミネータースイッチ ⓫
アーム高さ調整リング ❽
バランスウェイト ❻
針圧目盛リング ❼
アームロックつまみ ❽
アンチスケーティングつまみ ❼
キューイングレバー ❼
アームクランパー ❼
アームレスト ❼
トーンアーム ❻
ピッチインジケーター ⓬
pitch adj. つまみ ⓬
reset ボタン ⓬
ロッキングナット ❻
シェル ❺
Technics

カートリッジの準備

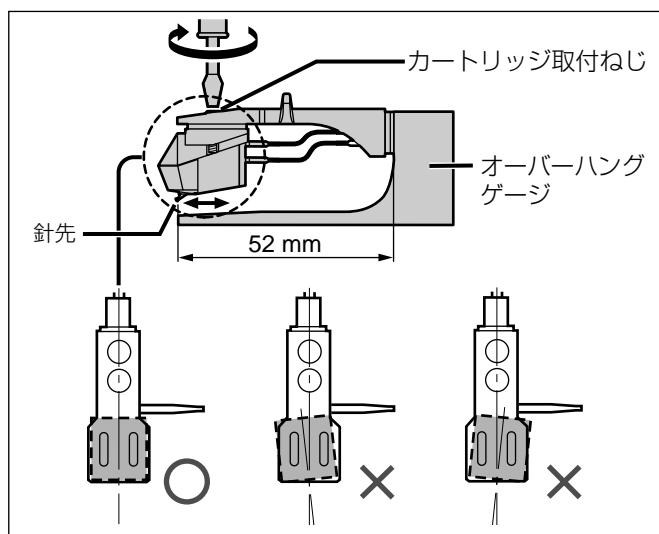
❶カートリッジ（別売り）を取り付ける

別売りのカートリッジ取扱説明書に従ってシェルに正しく取り付ける。

お知らせ

軽いカートリッジ (3.5〜6.5 g) を取り付ける場合は、付属のシェルウェイトをご使用ください。

❷オーバーハングを調整する

付属のオーバーハングゲージにシェルを取り付け、位置と傾きを調整した後、カートリッジ取付ねじを締め付ける。

- ゲージの先端に針先を合わせる。
- 正面および側面から見て傾きのないように合わせる。

組立てかた

輸送時のショックから保護するために一部の部品を取り外して包装しています。次の順序に従って組み立ててください。

お 願 い
- 組み立てが完了するまでは電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- またダストカバーの取り付けは、演奏終了時に行うようにしてください。

❶ ターンテーブル、ターンテーブルシートを取り付ける

①ターンテーブルをセンタースピンドルにはめる。
②ターンテーブルシートをのせる。

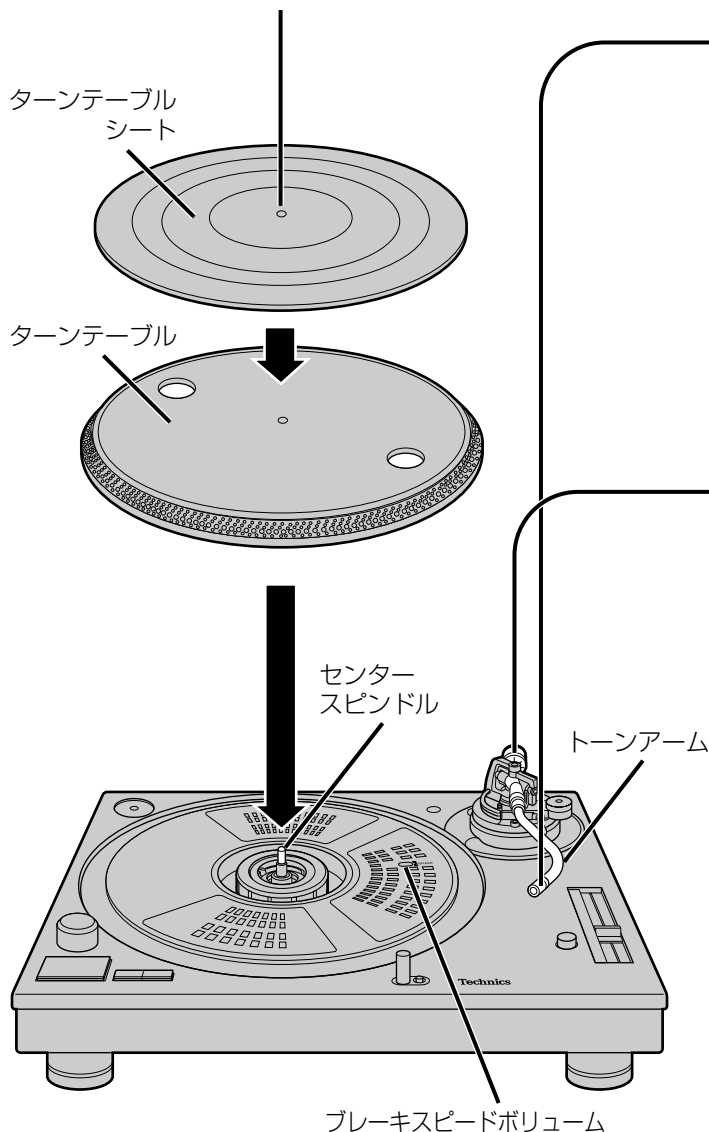
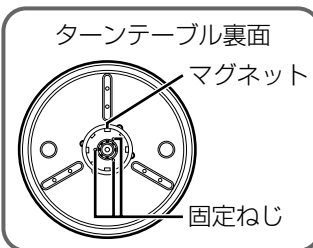
お 願 い
- ターンテーブルは、本体に当てたり落としたりしないでください。裏面のマグネットにごみや鉄粉等が付着しないようにしてください。
- ターンテーブルのマグネット固定ねじ（3ヵ所）は、さわらないでください。取付位置を変えた場合、定格性能の保証はできません。

ターンテーブルシート

ターンテーブル

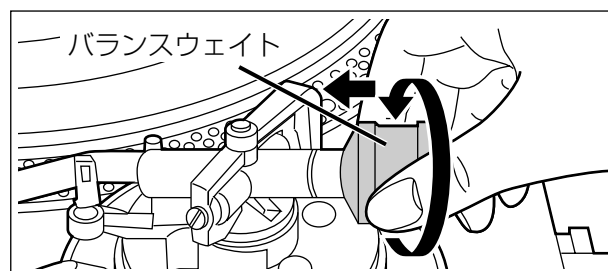
センタースピンドル

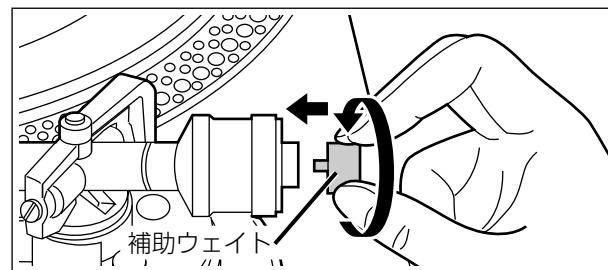
トーンアーム

ブレーキスピードボリューム

❷ シェルを取り付ける

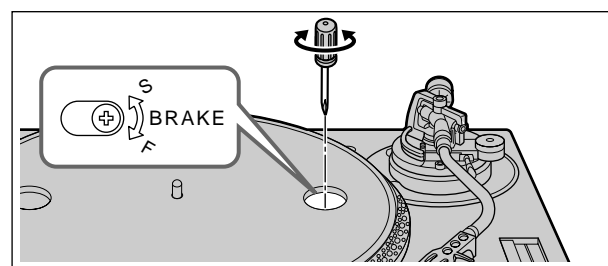
カートリッジ取り付けしたシェルをトーンアームにはめ、シェルを水平に保持しながら、ロッキングナットを締め付ける。

❸ バランスウェイトを取り付ける

トーンアームの後部軸に、バランスウェイトを取り付ける。

- **カートリッジ質量が10gを超え13gまでのときは**

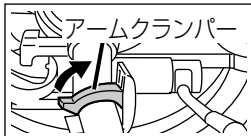
アーム後部軸に付属の補助ウェイトを取り付けます。

■ターンテーブルのブレーキスピードを調整するには

[start･stop]を押してから、ターンテーブルが停止するまでのブレーキスピードを調整できます。
ターンテーブルが右図の位置でブレーキスピードボリュームを確認し、ターンテーブルの穴からドライバーを入れて調整します。小さいドライバーをご使用ください。

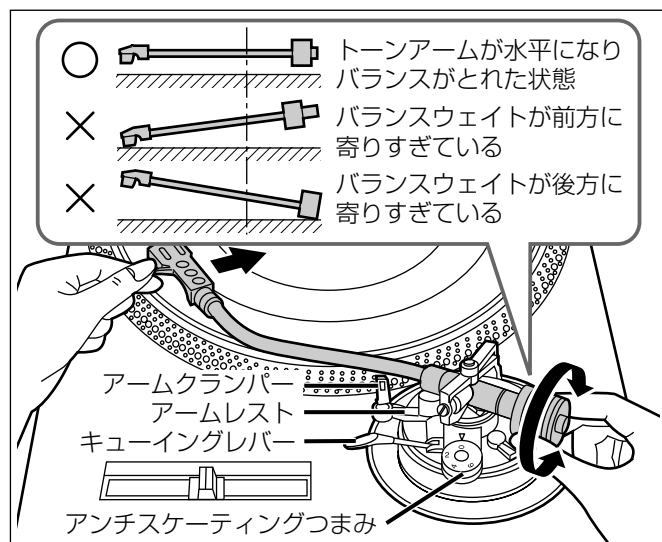
- S方向 ：ゆるやかに停止
- F方向 ：急激に停止

ご使用前の調整

水平(ゼロ)バランスの調整および針圧調整

準　備

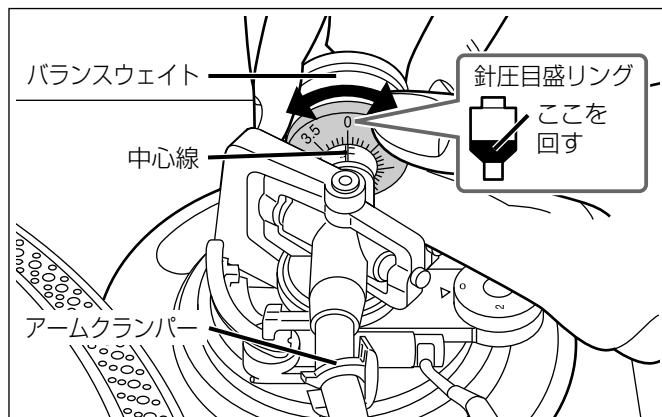
- 針先にふれないようにして、針カバーおよびアームクランパーを外します。
- キューイングレバーは下に倒します。
- アンチスケーティングつまみは"0"にします。

❶ トーンアームをアームレストから離し、水平バランスを調整する

トーンアームがほぼ水平の状態になるまでバランスウェイトを矢印方向に回し、調整する。

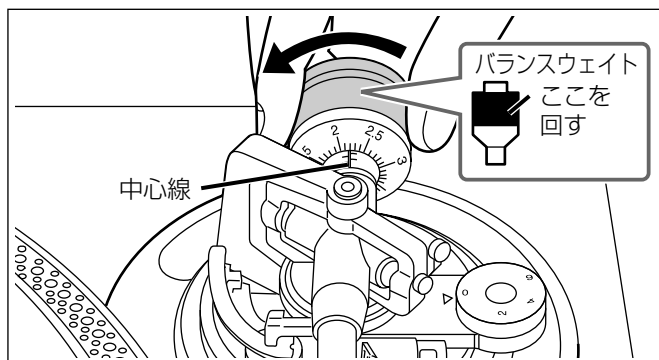
- カートリッジの針先がターンテーブルシートや本体に、触れないようにしてください。

準　備

トーンアームをアームレストに戻し、アームクランパーで固定しておきます。

❷ 針圧目盛リングの"0"をアーム後部軸の中心線に合わせる

バランスウェイトが動かないように指で支える。

❸ 針圧を調整する

バランスウェイトをご使用カートリッジの適正針圧値に合わせる。

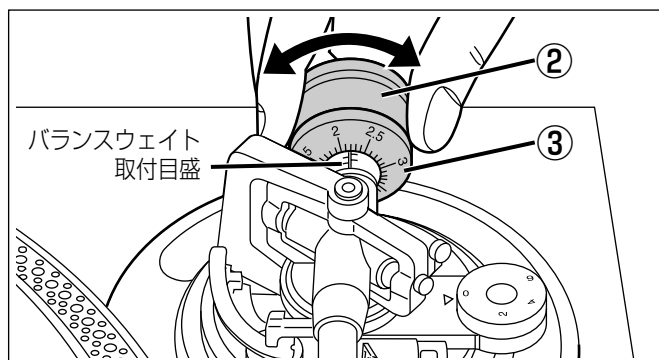
- バランスウェイトを回すと針圧目盛リングも一緒に回り、中心線と合った目盛を直読し、適正針圧値に合わせる。

バランスウェイト取付目盛の使いかた

使用したカートリッジ付シェルのバランスウェイト取付目盛を覚えておくと、水平バランスの調整❶を行うことなく、設定使用したバランスウェイト取付目盛に合わせるだけで即座に適正針圧が設定できます。

①使用したカートリッジ付シェルを、トーンアームに取り付ける。

②バランスウェイトを設定使用したバランスウェイト取付目盛に合わせる。

③針圧目盛リングを設定使用した針圧値に合わせる。

準
備

ご使用前の調整

アンチスケーティングの調整

通常演奏時は針圧値に合わせてご使用ください。

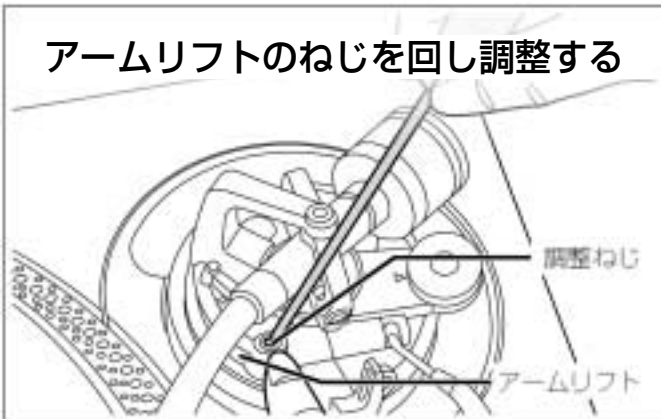
- **スクラッチプレイのときは**
  針とびを軽減するために、プレイ動作によっては目盛を調整してご使用ください。

アームリフトの高さ調整

準　備

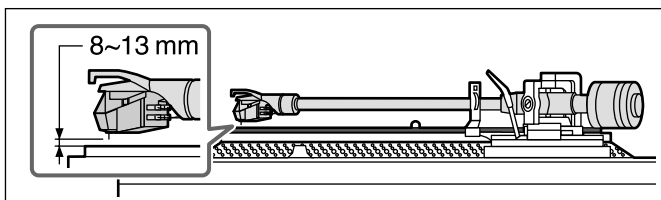
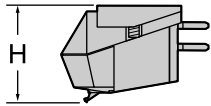
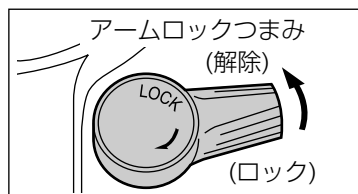
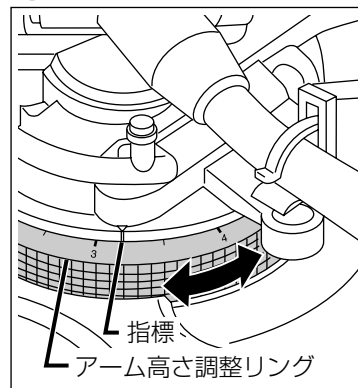
- レコード盤をターンテーブルシートにのせます。
- 針カバー、アームクランパーを外します。
- キューイングレバーを起こし、トーンアームをレコード盤上に移す。

アームリフトのねじを回し調整する

調整ねじ

アームリフト

ご使用カートリッジによって特に調整が必要な場合、調整してください。

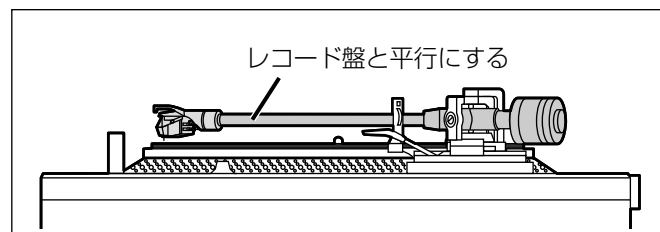
- **時計方向**　：レコード盤と針先の間隔が狭くなる
- **反時計方向**：レコード盤と針先の間隔が広くなる

アームリフトの高さ（キューイングレバーを起こし、針先とレコード面に生じる間隔）は工場出荷時に約8～13 mmの範囲で調整されています。

アームの高さ調整

❶アームロックつまみを回し、ロックを解除する

❷アーム高さ調整リングの目盛を合わせる

- ご使用カートリッジの寸法（H）に合うアーム高さ調整リング目盛位置（下表）を参考に、指標と合った目盛を直読し、リングを回し合わせる。
- アーム高さ調整リングは、0.5 mm刻みで6 mmまで目盛があります。

	カートリッジの寸法 H(mm)	アーム高さ調整リング目盛位置
H	17	0
	18	1
	19	2
	20	3
	21	4
	22	5
	23	6

アームの高さ調整後は、必ずアームロックつまみをロックしてください。

■H寸法が不明のときは

キューイングレバーを倒し、針先をレコード盤にのせ、トーンアームとレコード盤が平行になるようにアームの高さを調整してください。

接続と設置

プレーヤー端子、電源プラグの接続

❶ ステレオピンコード、PHONOアース線をアンプのプレーヤー端子に接続する

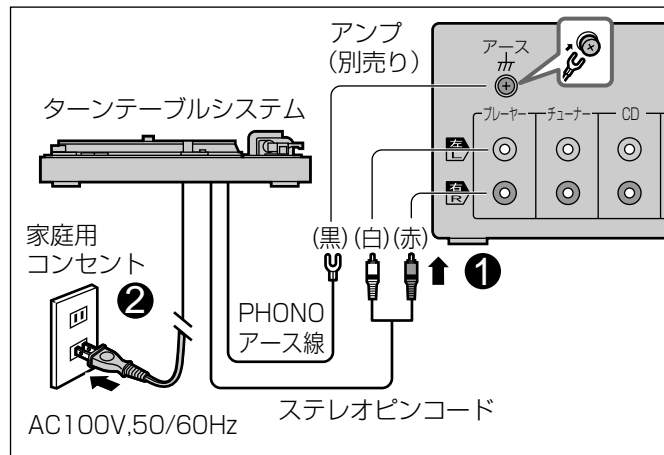
• プレーヤー端子のないアンプに接続すると十分な音量・音質が得られません。

お願い

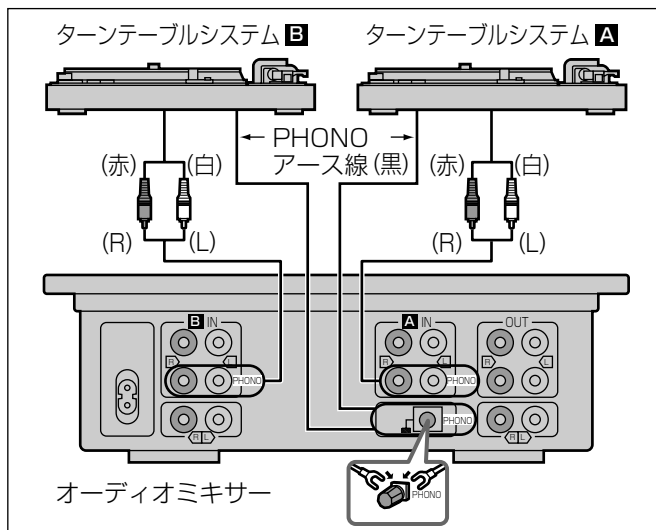
PHONOアース線の接続は必ず行ってください。接続しないと電源ハム(ブーンという音)が出ます。

❷ 電源プラグを接続する

全ての接続が終わった後、電源プラグを接続してください。

• アンプやレシーバーなどの付属コンセント(ACアウトレット)に接続する場合は、そのコンセントに表示されたワット数を確認してください。(本機の消費電力は11 Wです。)

オーディオミキサーへの接続

別売りのオーディオミキサー取扱説明書をご覧ください。

• 接続時、必ず各機器の電源を切ってください。
• 全ての接続が終わった後、電源プラグを接続してください。

お知らせ

関連する別売り品の一部については裏表紙の「別売り品のご紹介」をご参照ください。

本体の設置

外部振動を受けない、しっかりした水平な場所に設置してください。

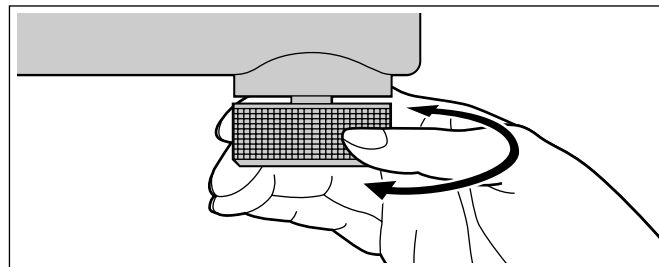
スピーカーシステムからできるだけ離して設置してください。

お願い

• 直射日光、ほこり、湿気などの多い場所や、暖房器具の近くは避けてください。
• ラジオ(FM/AM放送)を極端に近づけると、ラジオに雑音が入る場合があります。できるだけ本機より離してください。

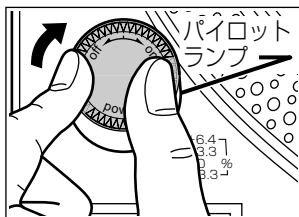
■本体の高さを調整するには

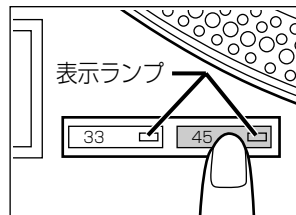
ご使用になる場所に設置した後、本体が水平になるようにインシュレーターを調整してください。

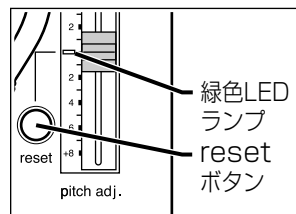
準備

演奏のしかた

準備
- レコード盤をターンテーブルシートにのせます。
- 針カバー、アームクランパーを外します。

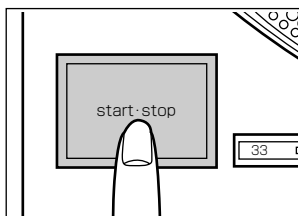
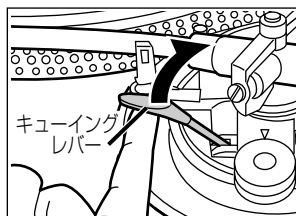
❶ [power]をonにする

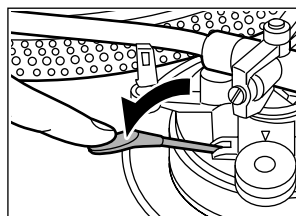
パイロットランプが点灯し、自動的に33⅓ 回転にセットされ表示ランプが点灯します。

- **EPレコードを演奏するときは**

スピード切換ボタンの 45 を押してください。

❸ [reset]を押してピッチコントロールの緑色LEDランプを点灯させる

規定の回転数（33⅓か45 r/min）になります。

通常演奏時は規定の回転数でご使用ください。

❷ [start･stop]を押す

ターンテーブルが回転します。

❹ キューイングレバーを起こし、トーンアームをレコード盤上に移動する

❺ キューイングレバーを倒す

トーンアームが静かに下降し演奏が始まります。

■演奏を一時中断するには

キューイングレバーを起こす
- カートリッジの針先はレコード盤より離れます。
- 再度演奏するときは、キューイングレバーを倒す。

■ピッチコントロール（回転数の微調整）するには

⇨ 12ページをご参照ください。

■演奏が終ったら

①キューイングレバーを起こしトーンアームをアームレストに戻した後、キューイングレバーを倒す

②[start･stop]を押す
ターンテーブルは電子ブレーキによりなめらかに停止します。

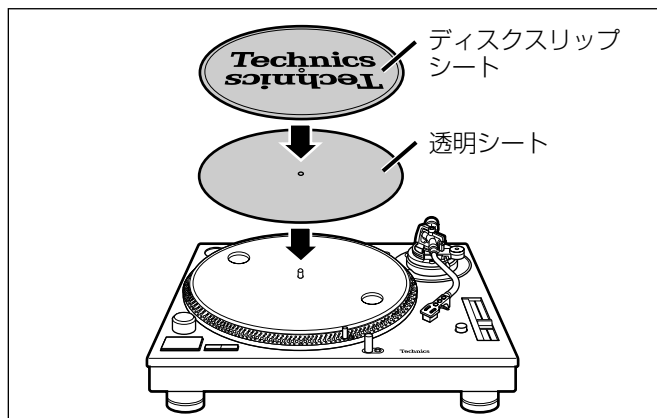
③[power]をoffにする
- トーンアームはアームクランパーで固定してください。
- 針先保護のため針カバーを付けてください。

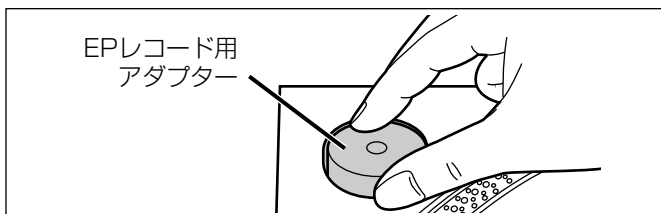
■ディスクスリップシート（付属）の使いかた

ターンテーブルシートの代わりに使用すると、ターンテーブル回転中に手でレコードを止めたり、逆転させせることができます。

- **表面**（印刷面）：レコード装着面
- **裏面**　　　　：スリップ面

■透明シート（付属）の使いかた

透明シートをディスクスリップシートの下に置いて使用すると、スリップ感が変わります。

■EPレコードのドーナツ盤のときは

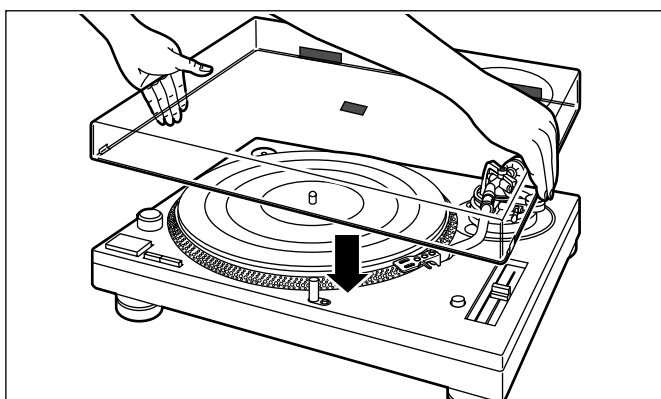
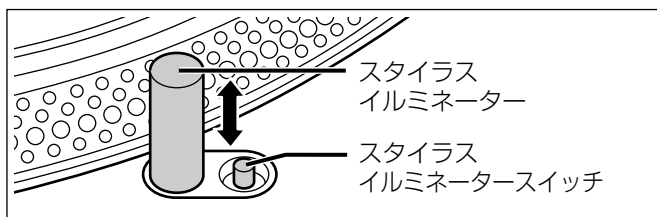
- 付属のEPレコード用アダプターを取り、センタースピンドルにはめる。
- スピード切換ボタンの45を押す。

■スタイラスイルミネーターについて

スタイラスイルミネータースイッチを押すと、スタイラスイルミネーターが点灯し針先を照明する位置まで上がります。

- 必要のないときは、スタイラスイルミネーターを押して下げておきます。スタイラスイルミネーターは消灯します。

お願い

スタイラスイルミネータースイッチは、確実に押してください。中途半端に押すと、点灯したままでスタイラスイルミネーターは上昇しないことがあります。

使いかた

■ダストカバーの取り付け

演奏が終わったら、ダストカバーの両側を支えて、真上よりのせる。

ピッチコントロール（回転数の微調整）

❶ [reset]を押して緑色LEDランプを消す

ターンテーブルが回転中に

❷ [pitch adj.]を動かして調整する

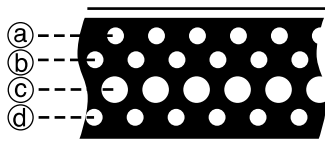
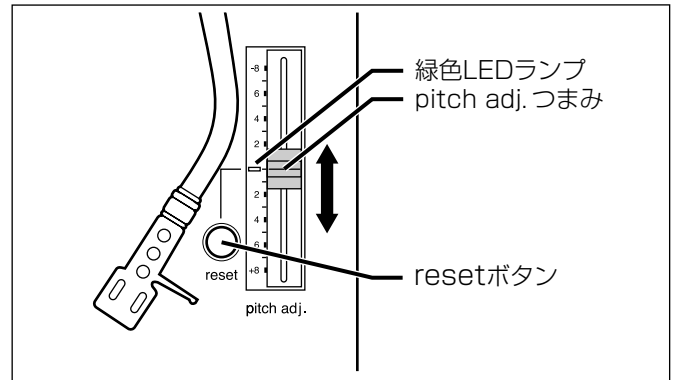
- ピッチコントロールは約±８％可変できます。
- ピッチインジケーターの数値はおよその％を示しています。目安として調整してください。

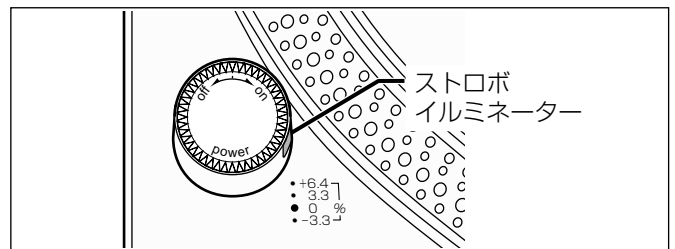
■規定の回転数に戻すには

[reset]を押します。
緑色LEDランプが点灯し、[pitch adj.]の調整位置に関係なく、瞬時に規定の回転数（33⅓ か45 r/min）になります。

■ピッチを検出するには

ターンテーブルの円周に刻まれた4列のストロボ縞目でより細かいピッチの検出ができます。

ストロボ縞目

ⓐが停止して見えるとき ＋6.4％のピッチ変化
ⓑが停止して見えるとき ＋3.3％のピッチ変化
ⓒが停止して見えるとき 規定の回転数（33⅓ か45 r/min）
ⓓが停止して見えるとき −3.3％のピッチ変化

お願い

本機のストロボ縞目の照明には、クォーツの正確な周波数と同期したストロボイルミネーター（赤色LED照明）を使用しています。ピッチの検出をするときは必ずこの赤色LEDの照明をもとに行ってください。

音のエチケット

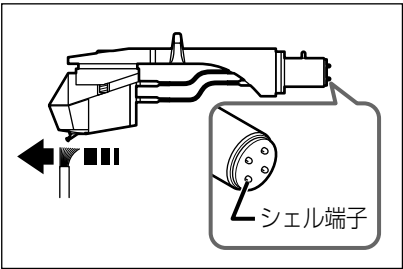
楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

お手入れ

■各部のお手入れ

針先やレコードに付着したほこりやごみは、よく取り除いてください

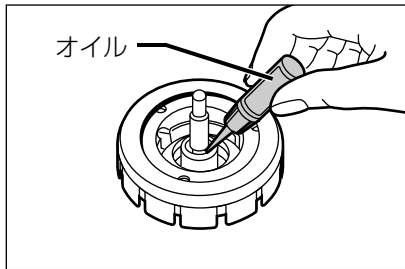
- カートリッジ付シェルを取り外し、針先の根もとから先端に向かって柔らかい穂先のはけか毛筆などでていねいに取り除いてください。
- レコード盤は良質のレコードクリーナーでよくふいてください。

シェル端子は、時どきふいてください

柔らかい布などでシェル端子をふいてトーンアームに取り付けてください。

シェルを着脱するときはアンプの電源を「切」にしてください

ボリュームをあげたまま行うとスピーカーを破損することがあります。

センタースピンドルの注油について

2000時間に1回、2～3滴の注油で十分です。別売りの純正オイル(SFW0010)をお求めください。

■ダストカバーなどのお手入れ

ダストカバーやキャビネットは、柔らかい布でふいてください

ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤(中性)を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- 演奏中は、ダストカバーをふかないでください。静電気が発生して、トーンアームがダストカバーに引き付けられることがあります。

■転宅などで、遠くへ運ばれるとき

購入時の包装材で、開梱のときと逆の方法で包装してください

包装材がない場合、次のことは必ず行ってください。

- ターンテーブルシートとターンテーブルを抜きとり、傷が付かないように包装してください。
- シェルやバランスウェイトは、アームから取り外し、傷が付かないように包装してください。
- トーンアームをアームクランパーで固定し、更にテープで結んで動かないようにしてください。
- 本体は、毛布や柔らかい紙で、傷が付かないように包装してください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは	ここをご確認ください	処　置	参照ページ
電源が入らない	電源プラグが外れていませんか。	確実に差し込む。	9
電源を入れても音が出ない 音が小さい	各機器の接続やステレオピンコードの接続が間違っていませんか。	ステレオピンコードはアンプのプレーヤー端子に接続する。	9
左右の音が逆になる	各機器の接続が左右逆になっていませんか。	正しく接続する。	9
演奏中にブーンという低い音(ハム音またはバズ音)が入る	接続コードの近くに蛍光灯などの電気器具やその電源コードがありませんか。	蛍光灯または他の機器の電源コードをできるだけ離してみる。	——
	ターンテーブルシステムのPHONOアース線が外れていませんか。	PHONOアース線を正しく接続する。	9

保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、ターンテーブルシステムの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

13ページの表「故障かな!?」に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。次の修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代	は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料	は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
品　名	ターンテーブルシステム
品　番	SL-1200MK5
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

松下電器産業株式会社および松下グループ関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、テクニクス製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
   なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ナショナル パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
  呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

拠点	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

拠点	所在地	電話番号
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南/内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

拠点	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
茨城	つくば市花畑2丁目8-1	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

拠点	所在地	電話番号
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

拠点	所在地	電話番号
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

拠点	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

拠点	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

拠点	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

拠点	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0105

主な仕様

ターンテーブル部	
形式	クォーツダイレクトドライブ ターンテーブルシステム(マニュアル)
駆動方式	ダイレクトドライブ
駆動モーター	ブラシレスDCモーター
ターンテーブル	アルミダイカスト製、直径33.2 cm 質量 約1.7 kg (ゴムシート含む)
回転数	33⅓、45 r/min
回転数調整範囲	±8 %
起動トルク	1.5 kg·cm
起動特性	0.7 s (33⅓ r/min時)
ブレーキ機構	電子ブレーキ
回転数偏差	±0.002 %以内 (reset on 時)
ワウ・フラッター	0.01 % W.R.M.S.※ 0.025 % W.R.M.S.(JIS C5521) ±0.035 % peak (IEC 98A weighted)
SN比(ランブル)	78 dB (IEC 98A weighted) 56 dB (IEC 98A unweighted)

※レコード、カートリッジ、トーンアームなどの影響を除いたD·Dモーター回転数の変動値を示します。この値は、モーターに内蔵のFG信号を用いて測定した値です。

トーンアーム部	
形式	ユニバーサルS字形トーンアーム ジンバルサスペンション軸受構造 スタチックバランス形
アーム有効長	230 mm
オーバーハング	15 mm
トラッキングエラー角	+2° 32′ (30cmレコード外周) +0° 32′ (30cmレコード内周)
オフセット角	22°
回転軸感度	水平、垂直、初動感度7 mg以下
アーム実効質量	12 g (カートリッジなし)
アーム高さ調整範囲	6 mm
針圧調整範囲	0〜4 g (針圧直読式)
シェル質量	約7.5 g
適用カートリッジ質量	3.5〜13 g (カートリッジ単体) 3.5〜6.5 g シェルウェイト使用時 6.0〜10 g 補助ウェイト未使用時 9.5〜13 g 補助ウェイト使用時
カートリッジ取付寸法	JIS規格12.7 mm (½インチ) 取付間隔
シェル端子ラグ	1.2 mmφ 4ピン端子ラグ

総合	
電源	AC 100 V, 50/60 Hz
消費電力	11 W
外形寸法	幅45.3×高さ17.2×奥行35.3 cm
質量	約11.7 kg

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

別売り品のご紹介 (2002年9月現在のものです。品番は変更されることがあります。)

- オーディオミキサー SH-EX1200
- アンプ SU-A707、SU-A808
- スピーカー SB-M300M2
- DJ用ステレオカートリッジ EPC-U1200
- ステレオカートリッジ交換針 EPS-1200CS
- スリップシート RP-WA1200

愛情点検 長年ご使用のターンテーブルシステムの点検を！

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

▶ このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ

おぼえのため記入されると便利です

お買い上げ日	年 月 日	品番	SL-1200MK5
販売店名	☎ ( ) –	お客様ご相談窓口	☎ ( ) –

松下電器産業株式会社 ネットワーク事業グループ
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

RQT6812-1S
M0902TK5025